



地域交流活動かわら版



2022年度 地域活動助成費を利用したさまざまな取り組み

地域活動助成費に関するお問い合わせは、地域交流課まで

「学生によるミタカ・ミライ研究アワード2022」 優秀賞受賞！ MindfulCommunity Project



岡村裕先生

責任者：岡村 裕先生(総合政策学部 教授)

地域の人々が心静かにお互いを思いやり、よりよい生活を送ることができることを目的として、欧米を中心に研究が進められているマインドフルネス

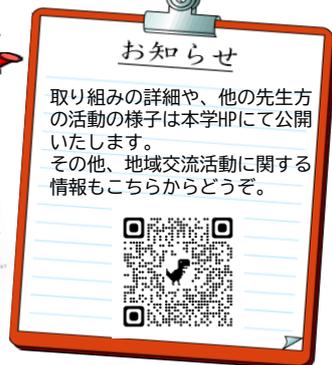
「**こころのエクササイズ**」について、正しい知識と実践方法を周知する取り組みをゼミ生とともに行いました。今年度は対面でワークショップを開催し、参加者の方々は多彩なアクティビティを楽しみ、ゼミ学生の若い方々と触れあえたのは大変元気をもらえたと好評でした。

また、三鷹ネットワーク大学が令和2年度から始めた「ミタカミライアワード2022」(学生たちが授業やゼミ活動などで取り組んだ地域社会やまちづくりに関する研究成果の発表会)では、**優秀賞**に輝き三鷹市長への報告会へ参加しました！

マインドフルネスという言葉に馴染みのない方へも周知活動を丁寧に行うことと自身が理解を深め、実践していくことが大切だと改めて感じた、と代表の中山さんから感想をいただきました。

【優秀賞】 Mindful Working in Mitaka —ウェルビーイングな職場づくり
総合政策学部 岡村ゼミナール

中山 采音さん(代表) 鈴木 菜摘さん 並木 悠真さん 吉武 諒真さん
＜優秀賞に選ばれたグループは、後日三鷹市長への提案報告会に参加します＞



1月12日に行ったワークショップ



三鷹市長 報告会



杏林大学 × 羽村市との連携

羽村市との協働事業

🌟🌟「生涯スポーツの機会提供」🌟🌟
本プログラムは自らの体に関心を持って健康寿命延伸を図ります。

羽村市と杏林大学は、相互の資源・研究成果などの交流を促進し、地域社会の創造や人材育成を目的に包括連携協定を締結しており、健康寿命延伸を目的に羽村市が開催する健康フェアへの参加や体力測定会、各種セミナーを行いました。

12月11日に、プリモホールゆとろぎでの「はむら健康フェア」ではロコモティブシンドロームの展示等、健康づくりに役立つ情報を紹介しました。

ロコモティブシンドローム(ロコモ：運動器症候群)は、加齢に伴う筋力の低下や関節や脊椎の病気、骨粗しょう症などにより運動器の機能が衰えて、要介護や寝たきりになってしまったり、そのリスクの高い状態を表す言葉です。

COVID19対策として人数制限をしたり測定項目を少なくしつつも、学生の丁寧なサポートにも参加者からは好評でした。今後も自身やご家族の健康を大事に考え、健康な日々をお送りいただくよう、取り組んでまいります。



相原圭太先生



石井博之先生



楠田美奈先生

第14回 大学コンソーシアム八王子 学生発表会



(会期)令和4年 12月3日(土)・4日(日)
(会場) 八王子学園都市センター
(八王子スタジアム東11番・12階)

「第14回大学コンソーシアム八王子学生発表会」周知用ポスターに 総合政策学部 4年生 小野沢 空 さんの作品が入選！

喜びのコメントをいただきました



MIDORI~

「パッと目を引くポスター」をテーマに、八王子市の持つ様々な面をそれぞれのオブジェの色で表現しています。また、オブジェの積み上げ方と置かれている向きに規則性がないこと、これは八王子で学びを深める学生達の個性と多様な学問があってこの発表会が出来上がってゆく姿を表しています。この賞に応募したきっかけは、3年生の時に見かけた前年度のポスターで、公募だと知り、絵を描くことが好きだったため、応募することを決めました。多くの作品の中から、入選という賞を頂けてとても嬉しく思っています。学生生活の最後に達成感を味わうことが出来たと感じています。

学生ボランティアも活躍！ 「ポッチャ東京カップ2023」が行われました

11月23日に武蔵野市・武蔵野文化生涯学習事業団の主催で「ポッチャ武蔵野カップ2022」に学生がボランティアスタッフとして参加し、審判やスコア記入等の活動を実施しました。理学療法学科では障がい者スポーツへの理解を深めており、同学科生を中心としたポッチャ部では競技への参加の他、公認審判員の資格を取得し、障がい者スポーツ大会の運営に携わったり市民への競技指導などの活動にも取り組んでいます。

2023年3月11日-12日に行われた「ポッチャ東京カップ2023」では本学ポッチャ部が**初優勝**を飾りました。



杏林大学の優勝チーム

12月3日「キャンドルナイト2022」を実施！

三鷹市立第一小学校区おやじの会「ダディ・ベアの会」と観光交流文化学科の古本泰之ゼミに在籍する学生が協力し合い、第一小学校の児童と保護者、第六中学校からのボランティア等と一緒に3000本を超えるキャンドルを校庭に並べ、キャンドルナイトを実施しました。古本ゼミは、かねてから第一小学校区おやじの会や新川地域の商店会と連携し、様々な地域貢献活動に取り組んでいます。

三鷹市でのとりくみ

午前中からみんなで作業しました。



古本ゼミ記念撮影



3000本の灯籠



三鷹一小 開校130周年記念

杏林大学地域総合研究所の地域貢献活動

長島 文夫 杏林大学地域総合研究所長（医学部教授）

地域総合研究所では、安心して住み暮らせる街づくりをめざして、地域の課題を解決できるよう、大学全体で取組みを進めています。その一部ではありますが下記にご紹介いたします。国内外の急速に変化する状況を見据えて、地域のご意見を反映しながら、大学内の多くの関連部署が協力して課題解決にむけて努力する所存です。引き続き、ご指導ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

1 2022年度杏林大学地域総合研究所紀要を公開

地域総合研究所では、地域での教育、研究、社会貢献を広く学内外に公開し、産学官民連携を通じて地域の活性化と発展をめざすために「杏林大学地域総合研究所紀要」を発刊いたしました。本学のHPにて公開しています。右のQRコードからこれまでの刊行物も含めてご覧いただくことが出来ます。

2 2022年度地域総合研究所フォーラムを開催

2023.3.11に開催された今年度のフォーラムでは本学の4学部の教員が講演を行い、それぞれが地域や自治体と連携して行う活動についてお話されました。学内の参加者も多く、各教員の様々な取り組みを知る機会となりました。



パネルディスカッションの様子

社会人履修生が杏園祭に出展

「高齢社会における地域活性化コーディネーター養成プログラム」として本学で進めている社会人向けの履修証明プログラムは、1年間で6科目を履修し（必修2科目、本学学生と共に学ぶ選択4科目）修了者には履修証明書が交付されるものです。今回、**本履修生**が10月に行われた**杏園祭**の屋内企画に出展しました。当日は履修生OB有志も参加し、無線を使った遊びなどの実演などを行いました。アマチュア無線を通して本学学生や地域のこども達との交流が深まりました。



503 Corekara [Corekara] コレカラ
アマチュア無線で世界とつながろう
29日(土)・30日(日) 10:00-16:00
アマチュア無線（火腿）を体験してコミュニケーションの喜びと国際的親善を学びます。
①無線機を使った実演を行います。
②無線機が壊れている状態の無線機を修理します。
③履修生アンテナ付無線機で交信実演を実施します。
④心なりの無線機・社会人履修生との交流が深まろう。

様々な報告は
本学HPにて公開中



ひきつづき、
地域交流活動にご期待ください

